

平成 25 年度久留米市高齢者実態調査について（報告）

1. 調査の目的

平成 27 年度から平成 29 年度を計画期間とする「久留米市第 6 期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画」を策定するにあたり、地域や高齢者の課題等を把握するための手法として、国の示す「日常生活圏域ニーズ調査」の質問項目をもとに、本市の高齢者の日常生活や健康状態、社会参加状況等を把握し、同計画に十分反映させるための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の特色

第 6 期計画策定時（平成 25 年度実施）	第 5 期計画策定時（平成 22 年度実施）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の生活状況や身体・介護予防に関する状況の把握 ・ 他自治体との状況・傾向比較が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の個別具体的な意識やニーズ、介護サービス利用意向を把握 ・ 久留米市独自の質問項目

3. 調査対象・方法等

(1) 調査対象者・回収状況

調査区分	対象者数(人)	有効回収数(人)	回収率 (%)
一般高齢者	3, 494	2, 224	63. 7
要支援者	1, 396	844	60. 5
要介護者	1, 102	463	42. 0
区分無回答	—	368	—
合計	5, 992	3, 899	65. 1

※平成 25 年 12 月 11 日現在久留米市在住の高齢者（65 歳以上）の中から無作為抽出

※・一般高齢者…要支援・要介護の認定を受けていない高齢者

- ・ 要支援者 …要介護状態には該当せず、身体上または精神上の障害があつて、日常生活を営むのに支障があると見込まれる状態（生活機能が改善する可能性が高い）と認定された被保険者
- ・ 要介護者 …身体上または精神上の障害があつて、入浴、排泄、食事等の日常生活においての基本的な動作の全部または一部について、常時介護を要すると見込まれる状態と認定された被保険者

(2) 調査方法

郵送配布、郵送回収（無記名）

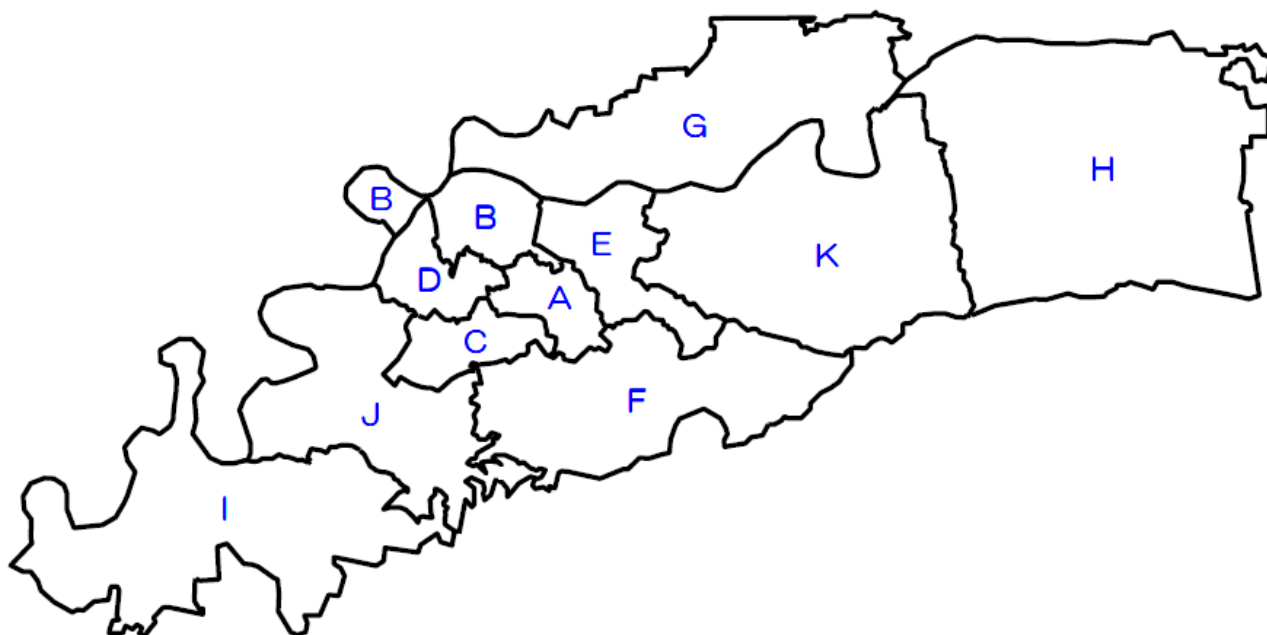
(3) 調査期間

平成 25 年 1 月 13 日（金）～ 31 日（火）

4. 調査回答者の属性

(参考) 日常生活圏域

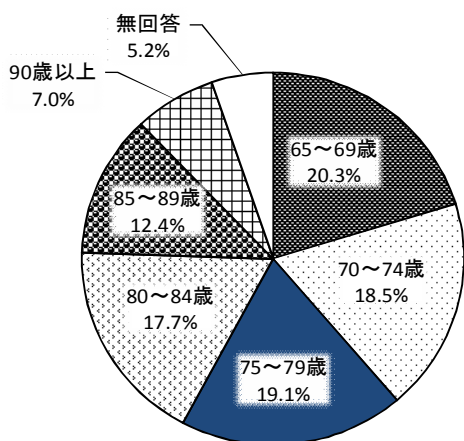
久留米市では、高齢者が住みなれた地域でその人らしい生活を送ることができるように、地域に密着した施策を実施するため、地域の地理的条件・態様や人口、高齢者数などを考慮して、小学校区を組み合わせ、市内に11の「日常生活圏域」(A~K)を設定しています。最も高齢化率が高いのは、H地区(28.6%)で、次いでK地区(27.1%)、I地区(25.9%)の順となっています。



圏域	小学校区								高齢化率
A	西国分	東国分							20.8%
B	荘島	日吉	篠山	南薫	長門石				21.0%
C	南	津福							22.3%
D	京町	鳥飼	金丸						21.8%
E	御井	合川							19.9%
F	上津	高良内	青峰						24.8%
G	小森野	宮ノ陣	北野	弓削	大城	金島			22.8%
H	船越	水分	柴刈	川会	竹野	水縄	田主丸		28.6%
I	城島	下田	青木	江上	浮島	犬塚	三瀦	西牟田	25.9%
J	荒木	安武	大善寺						24.7%
K	山川	山本	草野	善導寺	大橋				27.1%

※高齢化率は平成25年12月1日現在

(1) 性別・年齢



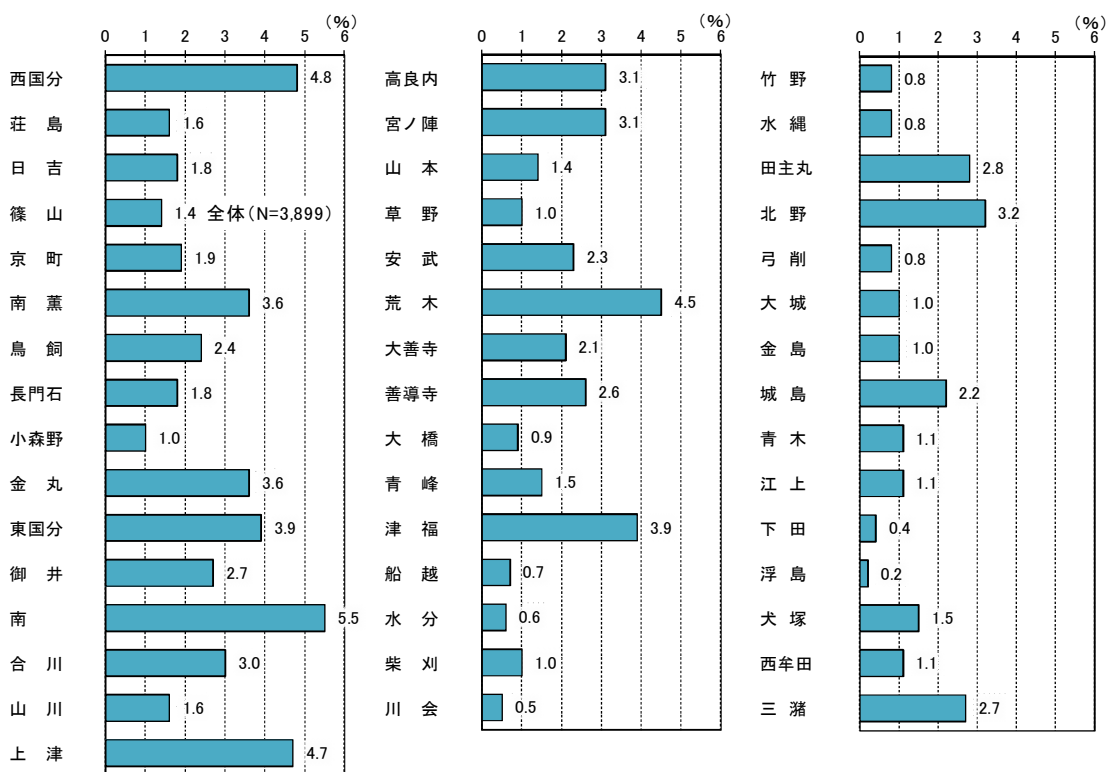
有効回収数中、男性の回答割合は28.0%、女性は57.5%、性別無回答は14.5%です。
回答者の年齢区分は、90歳以上を除き概ね均等です。

全体 (N=3,899)

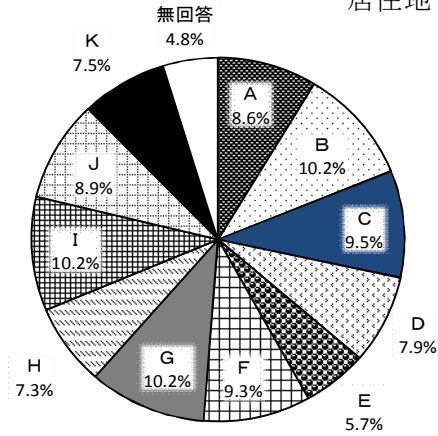
単位：%

		サンプル数	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳以上	無回答
全体		100.0 3,899	20.3 790	18.5 721	19.1 743	17.7 690	12.4 482	7.0 271	5.2 202
性別	男性	100.0 1,092	30.8 336	20.3 222	18.3 200	14.9 163	10.2 111	4.3 47	1.2 13
	女性	100.0 2,241	17.4 390	18.8 422	20.9 468	19.3 433	13.6 305	9.0 202	0.9 21
	無回答	100.0 566	11.3 64	13.6 77	13.3 75	16.6 94	11.7 66	3.9 22	29.7 168

(2) 居住地 (小学校別)



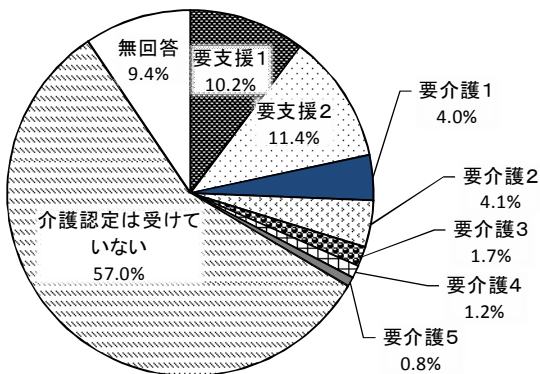
居住地（日常生活圏域別）



全体(N=3,899)

E 圏域の割合が少し低くなっています。他の圏域は7～10%程度です。

(3) 認定状況



全体(N=3,899)

要介護認定者のサンプル数が元々少なく、なおかつ回答率が40%台と低いため、全体に占める要介護者の回答割合も総じて低い結果となっています。

(4) 家族の状況・構成等

	サンプル数	単位：%				
		一人暮らし	家族など同居(二世帯住宅を含む)	その他(有料老人ホームなど)	無回答	
全体	3,899	23.2	68.7	1.5	6.6	
性・年齢別	男性65～69歳	336	12.5	83.9	0.9	2.7
	男性70～74歳	222	12.6	83.8	-	3.6
	男性75～79歳	200	13.0	82.0	-	5.0
	男性80～84歳	163	12.9	74.8	4.9	7.4
	男性85歳以上	158	18.4	72.8	4.4	4.4
	男性計	1,092	13.6	80.4	1.6	4.3
	女性65～69歳	390	19.7	77.9	0.3	2.1
	女性70～74歳	422	25.8	71.1	0.5	2.6
	女性75～79歳	468	32.5	62.2	0.6	4.7
	女性80～84歳	433	33.3	60.0	1.8	4.8
女性85歳以上	507	29.6	63.1	3.6	3.7	
女性計	2,241	28.4	66.4	1.4	3.8	
無回答	566	21.0	55.1	1.6	22.3	
認定状況別	一般	1,715	21.2	74.6	0.3	3.8
	二次予防	509	21.2	76.6	0.4	1.8
	要支援	844	34.4	58.3	3.1	4.3
	要介護1・2	317	21.8	70.3	3.5	4.4
	要介護3～5	146	5.5	80.1	8.2	6.2
無回答	368	17.7	47.8	0.8	33.7	
日常生活圏域別	A	337	31.2	63.5	1.5	3.9
	B	399	32.1	61.9	1.5	4.5
	C	370	29.7	67.0	0.8	2.4
	D	308	28.9	65.3	2.9	2.9
	E	221	23.1	72.4	-	4.5
	F	363	22.6	72.2	1.9	3.3
	G	396	18.7	76.3	2.8	2.3
	H	283	16.3	77.0	1.1	5.7
	I	396	16.2	78.8	0.5	4.5
	J	348	21.0	70.7	1.1	7.2
	K	291	21.0	73.5	1.4	4.1
無回答	187	11.2	28.9	2.7	57.2	

(家族の状況)

一人暮らしは全体の23.2%であり、性別で見ると、男性は13.6%、女性は28.4%と2倍近い開きがあります。

また、認定状況別でみた場合は、要支援(34.4%)の一人暮らしの割合が最も高くなっています。日常生活圏域別では、A～D圏域においては高齢者の一人暮らし世帯の割合が他の圏域よりも10～15%程度高くなっています。一人暮らし高齢者の割合が少なかった圏域はH、I圏域で16%台となっています。

(同居人数・同居者)

同居人数は全体平均が 3.14 人で、2 人暮らし (44.6%) の割合が最も高く、次いで 3 人 (22.6%)、5 人以上の順となっています。

日常生活圏域で平均人数が一番多いのは H 圏域 (3.65 人) で、最も少ないのは C 圏域 (2.78 人) です。

単位：%

	サンプル数	2人	3人	4人	5人以上	無回答	平均(人)	
全体	2,678	44.6	22.6	11.9	16.6	4.3	3.14	
性・年齢別	男性65～69歳	282	47.9	28.0	9.6	10.3	4.3	2.93
	男性70～74歳	186	51.6	23.1	6.5	14.0	4.8	2.97
	男性75～79歳	164	58.5	17.7	7.3	13.4	3.0	2.85
	男性80～84歳	122	59.0	16.4	9.8	13.1	1.6	2.88
	男性85歳以上	115	43.5	20.9	14.8	14.8	6.1	3.05
	男性計	878	51.7	22.3	9.3	12.5	4.1	2.93
	女性65～69歳	304	51.6	22.4	9.2	11.5	5.3	2.94
	女性70～74歳	300	49.7	19.7	9.7	17.0	4.0	3.09
	女性75～79歳	291	43.3	18.2	11.0	23.4	4.1	3.32
	女性80～84歳	260	34.2	20.0	15.8	24.2	5.8	3.50
女性85歳以上	320	26.6	30.9	20.6	19.4	2.5	3.48	
女性計	1,488	41.0	22.4	13.3	19.0	4.3	3.26	
無回答	312	42.0	24.0	12.2	17.0	4.8	3.19	
認定状況別	一般	1,280	47.4	22.3	11.0	14.7	4.5	3.06
	二次予防	390	44.4	21.8	11.3	19.5	3.1	3.23
	要支援	492	43.9	19.7	13.2	18.5	4.7	3.20
	要介護1・2	223	39.0	27.8	14.3	16.1	2.7	3.19
	要介護3～5	117	34.2	28.2	13.7	20.5	3.4	3.38
無回答	176	40.9	23.9	11.4	17.0	6.8	3.17	
日常生活圏域別	A	214	48.6	22.4	11.2	12.6	5.1	2.95
	B	247	51.8	23.1	9.3	12.1	3.6	2.95
	C	248	57.7	19.4	9.7	9.3	4.0	2.78
	D	201	51.2	20.4	7.0	15.9	5.5	3.01
	E	160	48.8	26.3	11.3	9.4	4.4	2.85
	F	262	51.9	21.8	9.9	13.7	2.7	2.96
	G	302	37.4	18.5	14.6	24.5	5.0	3.44
	H	218	33.0	19.3	16.5	25.2	6.0	3.65
	I	312	34.9	26.9	13.1	21.2	3.8	3.39
	J	246	40.2	25.2	14.6	16.7	3.3	3.21
	K	214	42.1	22.4	12.6	18.7	4.2	3.25
	無回答	54	37.0	37.0	9.3	11.1	5.6	3.00

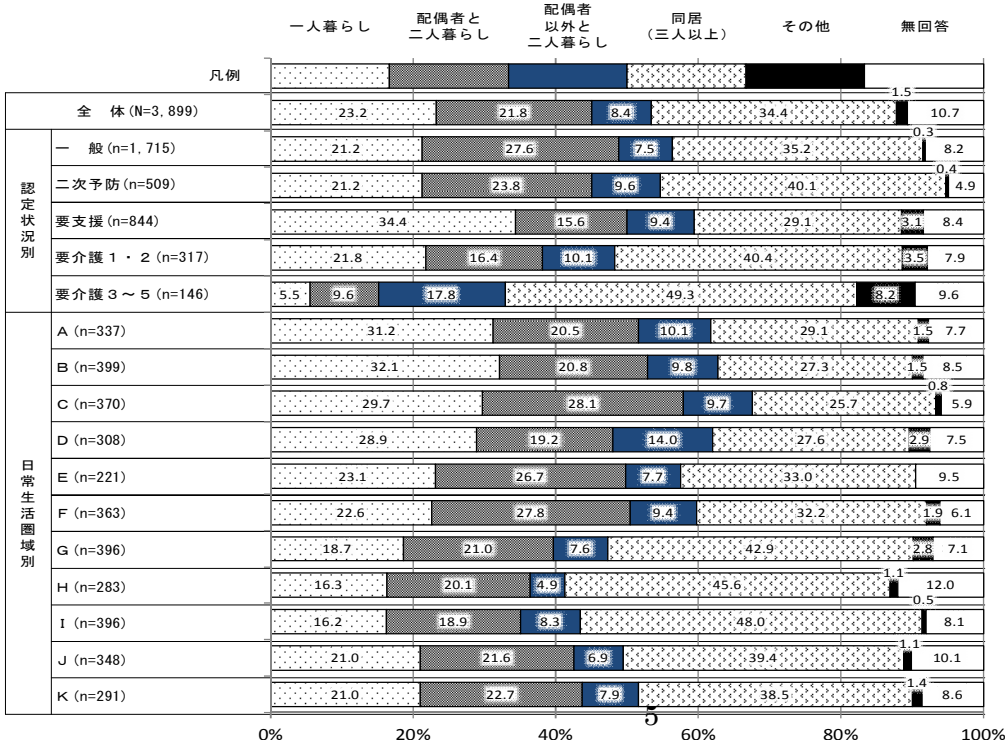
単位：%

	サンプル数	配偶者(夫・妻)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答	
全体	2,678	60.0	37.8	22.4	17.4	20.5	1.9	4.0	2.2	
性・年齢別	男性65～69歳	282	92.6	27.7	22.0	6.0	8.5	1.8	8.5	1.4
	男性70～74歳	186	85.5	21.5	21.0	10.2	12.9	3.2	2.7	1.6
	男性75～79歳	164	82.9	29.9	12.2	7.9	11.0	-	1.8	1.8
	男性80～84歳	122	79.5	26.2	18.9	14.8	14.8	0.8	1.6	0.8
	男性85歳以上	115	65.2	34.8	20.9	20.0	20.0	0.9	2.6	3.5
	男性計	878	83.8	27.4	19.5	10.3	12.4	1.5	4.2	1.7
	女性65～69歳	304	69.7	30.3	23.7	8.9	15.1	3.0	7.9	2.3
	女性70～74歳	300	62.0	32.3	26.0	10.3	18.0	3.0	3.3	3.0
	女性75～79歳	291	51.2	40.9	25.1	17.5	25.8	2.4	2.7	1.7
	女性80～84歳	260	35.4	53.5	20.4	28.5	34.6	2.7	3.5	2.3
女性85歳以上	320	14.7	55.3	30.9	43.1	32.8	1.3	4.4	3.1	
女性計	1,488	46.5	42.5	25.3	22.0	25.1	2.4	4.4	2.5	
無回答	312	57.7	44.2	17.0	15.7	21.5	1.0	1.9	2.6	
認定状況別	一般	1,280	71.1	34.0	21.2	11.5	16.0	2.1	4.2	1.7
	二次予防	390	60.0	37.7	24.9	18.5	24.4	1.5	4.9	2.6
	要支援	492	45.3	43.7	19.7	23.2	27.4	2.4	3.3	3.0
	要介護1・2	223	42.2	43.5	26.0	30.9	23.3	0.4	5.4	2.7
	要介護3～5	117	37.6	43.6	37.6	37.6	23.1	2.6	2.6	0.9
無回答	176	58.5	37.5	19.3	11.4	20.5	1.7	2.3	3.4	
日常生活圏域別	A	214	58.4	31.8	25.7	12.1	18.2	2.3	2.3	2.8
	B	247	60.7	35.2	24.7	13.4	15.4	2.4	5.7	2.8
	C	248	63.3	24.6	24.2	10.9	14.9	2.4	4.4	2.8
	D	201	51.7	34.3	30.3	14.4	14.9	5.5	6.0	1.5
	E	160	67.5	31.3	21.9	13.8	13.1	3.1	4.4	3.8
	F	262	65.6	35.1	21.0	14.1	16.8	0.4	1.9	1.1
	G	302	57.9	42.4	21.5	25.2	27.8	1.0	4.0	2.0
	H	218	55.5	45.0	18.3	28.4	30.3	0.5	4.6	3.7
	I	312	58.3	47.4	21.5	22.4	25.3	0.6	3.2	0.6
	J	246	61.0	41.9	21.5	15.9	22.8	2.0	4.1	0.8
	K	214	60.7	38.3	20.6	18.7	22.4	2.8	5.6	2.3
	無回答	54	63.0	46.3	9.3	9.3	14.8	1.9	-	9.3

同居者で一番多いのは配偶者 (60.0%) で次いで息子、娘の順となっています。

認定状況別では、「配偶者」と同居している人の割合は認定が高くなるほど減少傾向となっています。逆に、「子の配偶者」と同居している人の割合は、認定が高くなるほど増加傾向にあります。

■居住形態(日常生活圏域別)



(5) 介護・介助の状況

単位：％

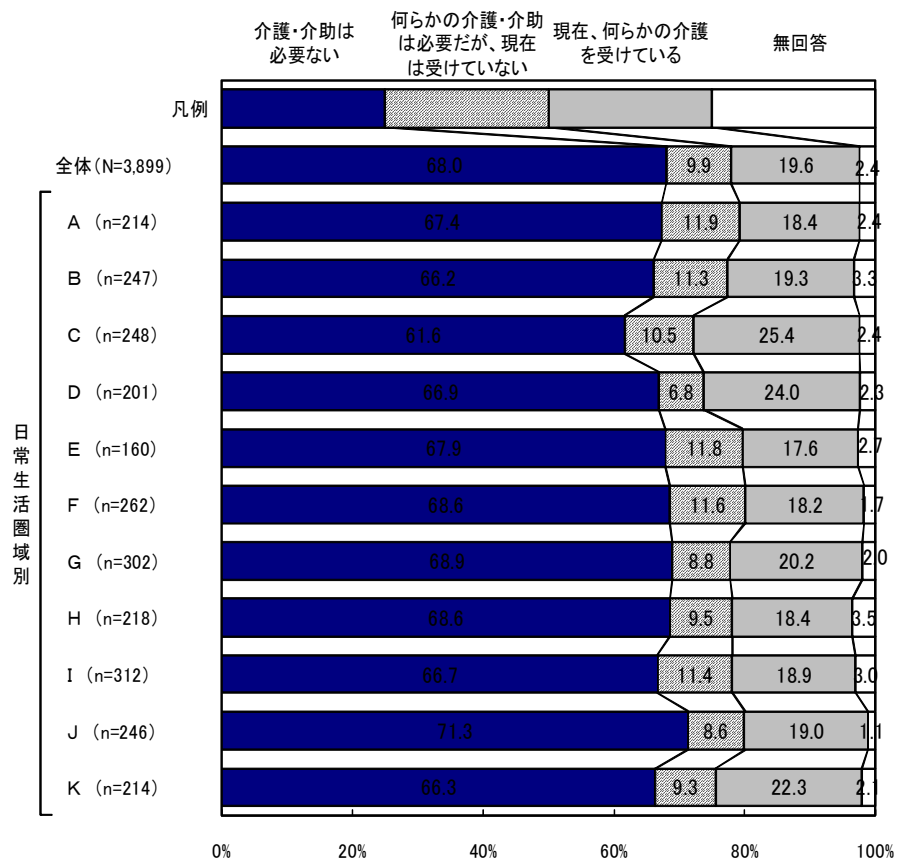
	サンプル数	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答	
全体	3,899	68.0	9.9	19.6	2.4	
性・年齢別	男性65～69歳	336	92.0	3.6	4.5	-
	男性70～74歳	222	85.6	5.4	9.0	-
	男性75～79歳	200	75.0	7.0	17.0	1.0
	男性80～84歳	163	57.7	14.7	26.4	1.2
	男性85歳以上	158	45.6	13.3	38.6	2.5
	男性計	1,092	75.6	7.7	15.8	0.8
	女性65～69歳	390	91.5	3.6	4.6	0.3
	女性70～74歳	422	83.6	5.0	10.7	0.7
	女性75～79歳	468	68.6	11.8	17.5	2.1
	女性80～84歳	433	53.1	12.7	29.3	4.8
	女性85歳以上	507	35.1	14.6	44.8	5.5
	女性計	2,241	64.8	9.9	22.4	2.9
	無回答	566	66.1	14.5	15.9	3.5
認定状況別	一般	1,715	94.1	3.8	1.4	0.7
	二次予防	509	83.1	13.0	3.3	0.6
	要支援	844	34.4	18.7	41.7	5.2
	要介護1・2	317	11.7	13.2	72.9	2.2
	要介護3～5	146	12.3	8.2	75.3	4.1
無回答	368	73.4	12.0	8.7	6.0	
日常生活圏域別	A	337	67.4	11.9	18.4	2.4
	B	399	66.2	11.3	19.3	3.3
	C	370	61.6	10.5	25.4	2.4
	D	308	66.9	6.8	24.0	2.3
	E	221	67.9	11.8	17.6	2.7
	F	363	68.6	11.6	18.2	1.7
	G	396	68.9	8.8	20.2	2.0
	H	283	68.6	9.5	18.4	3.5
	I	396	66.7	11.4	18.9	3.0
	J	348	71.3	8.6	19.0	1.1
	K	291	66.3	9.3	22.3	2.1
無回答	187	83.4	5.3	8.6	2.7	

単位：％

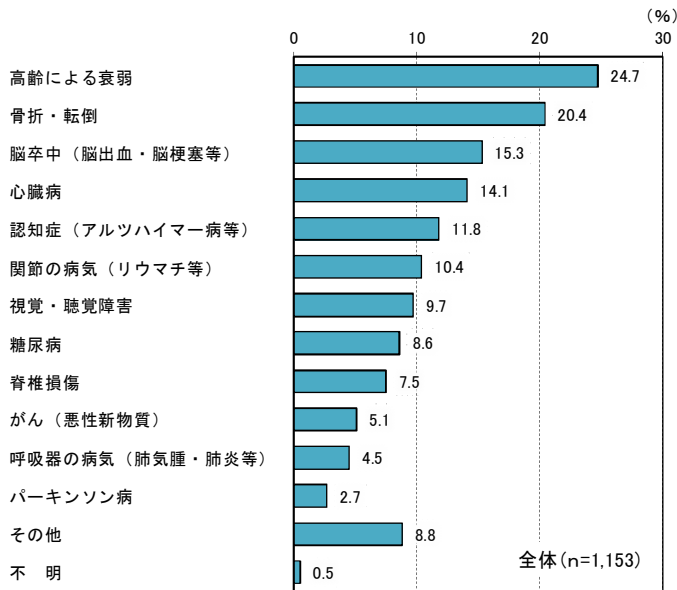
	サンプル数	介護・介助は必要ない	何らかの介護・介助は必要だが、現在受けていない	現在、何らかの介護を受けている	無回答	
全体	3,899	68.0	9.9	19.6	2.4	
世帯構成別	一人暮らし	904	63.7	10.7	21.9	3.7
	配偶者と二人暮らし	849	75.0	9.2	14.5	1.3
	配偶者以外と二人暮らし	328	59.5	11.3	26.5	2.7
	同居（三人以上）	1,343	67.2	10.2	20.9	1.6
	その他	59	30.5	8.5	57.6	3.4
無回答	416	77.6	7.9	10.3	4.1	

介護、会場の状況について、性・年齢別に見てみると、男女とも年齢が高くなるほど、「現在、何らかの介護を受けている」、「介護・介助は必要だが、今は受けていない」の割合は高くなっています。日常生活圏域では、C圏域と、D圏域で「現在、何らかの介護を受けている」の割合は約4人に1人となっており、全体平均よりも高い状況です。世帯構成別では、現在何らかの介護を受けている人は「配偶者以外との二人暮らし」が最も多く、次いで「一人暮らし」、「三人以上の同居」の順となっています。

■介護の必要性(日常生活圏域別)



(6) 介護・介助が必要になった原因・既往症



介護・介助が必要になった主な原因としては、「高齢による衰弱」(24.7%)の割合が最も高く、次いで「転倒・骨折」(20.4%)、「脳卒中」(15.3%)、「心臓病」(14.1%)の順となっています。

性・年齢別では「脳卒中」の割合は男性(23.2%)が女性(12.4%)を上回っており、逆に「骨折・転倒」は女性(23.8%)が男性(12.5%)を上回っている。また、男性の65～69歳では、「糖尿病」が25.9%と高い割合を示しています。

認定状況別では要介護1・2では23.4%、要介護3～5では39.3%が「認知症」であり、高い割合を示しています。

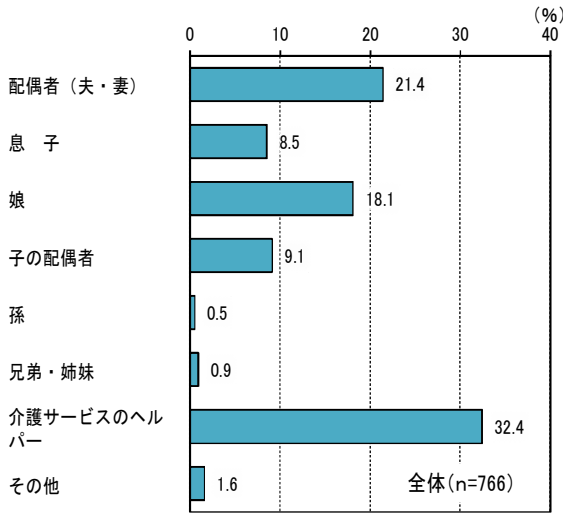
概ね、ほとんどの圏域において高齢による衰弱が介護・介助が必要になった原因の1位となっているが、下圏域では脳卒中(33.0%)、I・K圏域では骨折・転倒が25.0%、28.3%で1位となっています。

単位: %

	サンプル数	高齢による衰弱	骨折・転倒	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	認知症(アルツハイマー病等)	関節の病気(リウマチ等)	視覚・聴覚障害	糖尿病	脊椎損傷	がん(悪性新物質)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	パーキンソン病	その他	不明	無回答	
全体	1,153	24.7	20.4	15.3	14.1	11.8	10.4	9.7	8.6	7.5	5.1	4.5	2.7	8.8	0.5	12.0	
性・年齢別	男性65～69歳	27	-	-	29.6	22.2	7.4	3.7	-	25.9	7.4	7.4	3.7	-	14.8	7.4	14.8
	男性70～74歳	32	3.1	6.3	37.5	18.8	6.3	3.1	3.1	6.3	3.1	3.1	3.1	6.3	21.9	-	15.6
	男性75～79歳	48	12.5	12.5	39.6	12.5	8.3	6.3	12.5	10.4	6.3	8.3	6.3	4.2	12.5	2.1	8.3
	男性80～84歳	67	23.9	14.9	17.9	11.9	17.9	4.5	7.5	13.4	10.4	4.5	3.0	7.5	9.0	-	11.9
	男性85歳以上	82	46.3	17.1	11.0	17.1	13.4	11.0	12.2	3.7	6.1	6.1	8.5	-	6.1	-	9.8
	男性計	257	23.7	12.5	23.3	15.6	12.1	7.0	8.6	10.1	7.0	5.8	5.4	3.5	10.9	1.2	11.3
	女性65～69歳	32	3.1	3.1	15.6	6.3	3.1	15.6	3.1	15.6	6.3	3.1	6.3	-	21.9	3.1	28.1
	女性70～74歳	66	3.0	16.7	22.7	7.6	7.6	22.7	6.1	10.6	13.6	6.1	1.5	3.0	10.6	-	22.7
	女性75～79歳	137	15.3	24.1	10.9	16.8	6.6	11.7	13.1	9.5	10.2	10.9	4.4	2.2	13.1	-	11.7
	女性80～84歳	182	26.4	28.0	12.1	16.5	13.7	13.7	10.4	7.7	7.1	2.7	4.4	3.8	5.5	0.5	11.5
女性85歳以上	301	41.2	24.6	10.6	12.0	17.3	7.3	10.0	6.6	4.7	3.7	3.7	2.0	6.6	0.3	8.3	
女性計	724	27.3	23.8	12.4	13.7	12.8	11.5	9.9	8.4	7.3	5.1	3.9	2.5	8.6	0.4	11.9	
無回答	172	15.1	18.0	15.1	13.4	7.0	11.0	10.5	7.0	8.7	4.1	5.8	2.3	7.0	-	13.4	
認定状況別	一般	89	16.9	9.0	6.7	10.1	5.6	4.5	9.0	7.9	4.5	1.1	5.6	-	2.2	1.1	37.1
	二次予防	83	20.5	10.8	10.8	18.1	2.4	14.5	9.6	9.6	4.8	8.4	6.0	-	8.4	-	30.1
	要支援	510	24.3	23.5	13.3	15.7	2.5	13.3	10.8	9.6	8.8	5.3	5.1	2.5	11.6	0.6	9.2
	要介護1・2	273	28.6	22.3	18.7	13.6	23.4	7.0	9.9	7.3	8.4	5.9	3.3	3.7	8.1	0.4	5.5
	要介護3～5	122	29.5	19.7	27.0	8.2	39.3	7.4	5.7	5.7	4.1	5.7	3.3	6.6	4.9	-	1.6
無回答	76	19.7	17.1	11.8	14.5	5.3	10.5	9.2	10.5	6.6	1.3	3.9	-	7.9	1.3	21.1	
日常生活圏域別	A	102	25.5	22.5	17.6	15.7	6.9	12.7	10.8	8.8	5.9	7.8	7.8	3.9	5.9	-	10.8
	B	122	24.6	21.3	9.8	14.8	10.7	9.8	5.7	9.0	13.1	3.3	3.3	1.6	7.4	-	13.9
	C	133	26.3	21.8	11.3	18.8	12.0	12.0	14.3	9.8	6.8	6.8	3.8	2.3	12.8	1.5	8.3
	D	95	26.3	17.9	13.7	15.8	9.5	12.6	9.5	5.3	11.6	5.3	4.2	3.2	10.5	1.1	8.4
	E	65	24.6	18.5	13.8	16.9	9.2	12.3	10.8	6.2	4.6	-	6.2	3.1	9.2	-	15.4
	F	108	25.0	18.5	11.1	12.0	14.8	8.3	9.3	13.0	11.1	5.6	4.6	2.8	13.9	-	9.3
	G	115	25.2	21.7	33.0	17.4	13.0	7.8	13.0	8.7	7.0	5.2	3.5	1.7	5.2	-	7.8
	H	79	26.6	12.7	21.5	13.9	22.8	3.8	2.5	6.3	5.1	11.4	3.8	2.5	7.6	-	15.2
	I	120	20.8	25.0	14.2	9.2	10.0	10.8	6.7	10.0	4.2	2.5	5.0	2.5	9.2	0.8	16.7
	J	96	26.0	16.7	11.5	9.4	8.3	13.5	12.5	6.3	2.1	3.1	5.2	1.0	8.3	2.1	15.6
	K	92	20.7	28.3	10.9	9.8	13.0	9.8	8.7	10.9	8.7	5.4	4.3	5.4	7.6	-	13.0
無回答	26	26.9	3.8	15.4	15.4	15.4	11.5	15.4	-	7.7	3.8	-	3.8	3.8	-	11.5	

(7) 介護者

主な介護者 (全体)



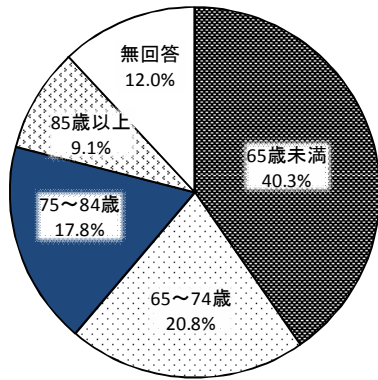
単位：%

	サンプル数	妻(配偶者)	息子	娘	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	ヘルパー	その他	無回答	
全体	766	21.4	8.5	18.1	9.1	0.5	0.9	32.4	1.6	7.4	
性・年齢別	男性65~69歳	15	40.0	-	-	6.7	-	40.0	6.7	6.7	
	男性70~74歳	20	80.0	-	-	-	-	10.0	5.0	-	
	男性75~79歳	34	67.6	-	8.8	2.9	-	17.6	2.9	-	
	男性80~84歳	43	46.5	2.3	11.6	2.3	-	25.6	-	11.6	
	男性85歳以上	61	27.9	4.9	13.1	11.5	-	32.8	1.6	6.6	
	男性計	173	47.4	2.3	9.2	5.8	-	26.0	2.3	5.8	
	女性65~69歳	18	27.8	-	11.1	-	-	5.6	44.4	-	11.1
	女性70~74歳	45	22.2	4.4	11.1	-	-	4.4	46.7	-	11.1
	女性75~79歳	82	23.2	8.5	23.2	3.7	-	-	32.9	2.4	6.1
	女性80~84歳	127	13.4	8.7	17.3	11.8	-	0.8	41.7	1.6	4.7
女性85歳以上	227	3.1	14.5	27.8	15.0	1.3	0.4	29.1	0.9	7.9	
女性計	503	11.5	10.5	22.3	10.3	0.6	1.0	35.2	1.2	7.4	
無回答	90	26.7	8.9	12.2	8.9	1.1	-	28.9	2.2	11.1	
認定状況別	一般	24	37.5	8.3	20.8	4.2	-	8.3	8.3	4.2	
	二次予防	17	29.4	11.8	29.4	5.9	-	-	5.9	11.8	
	要支援	352	18.8	7.1	15.9	6.5	0.6	0.6	40.3	0.9	9.4
	要介護1・2	231	23.4	11.3	16.9	11.7	0.4	1.3	27.7	1.3	6.1
	要介護3~5	110	24.5	9.1	28.2	11.8	0.9	-	20.0	1.8	3.6
無回答	32	9.4	-	9.4	15.6	-	-	53.1	3.1	9.4	

主な介護者は「介護サービスのヘルパー」(32.4%)の割合がもっとも高く、「配偶者」(21.4%)、娘(18.1%)の順となっています。

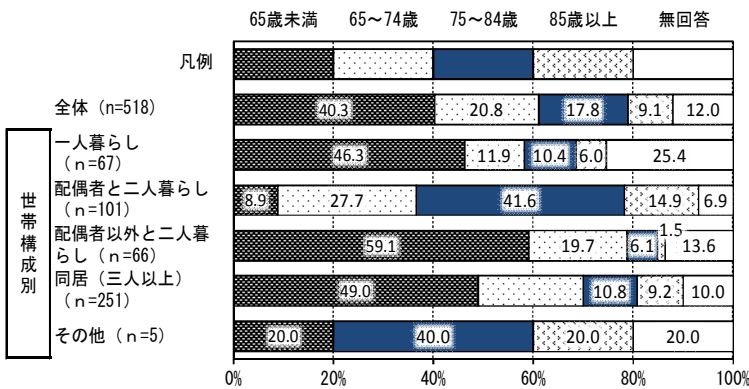
性・年齢別では、男性は「配偶者」(47.4%)の割合が最も高いのに対し、女性は「介護サービスのヘルパー」(35.2%)が最も高く、年齢が低くなるにつれて、「配偶者」の割合が高くなっていきます。

(8) 介護・介助者の年齢



■世帯構成別介護者の年齢

全体(n=518)



単位：%

	サンプル数	65歳未満	65~74歳	75~84歳	85歳以上	無回答
全体	518	40.3	20.8	17.8	9.1	12.0
性・年齢別	男性65~69歳	9	77.8	22.2	-	-
	男性70~74歳	18	5.6	83.3	11.1	-
	男性75~79歳	28	10.7	46.4	35.7	-
	男性80~84歳	32	21.9	12.5	50.0	3.1
	男性85歳以上	41	39.0	14.6	17.1	22.0
	男性計	128	26.6	31.3	27.3	7.8
	女性65~69歳	10	20.0	50.0	-	10.0
	女性70~74歳	24	20.8	20.8	37.5	-
	女性75~79歳	55	52.7	1.8	29.1	1.8
	女性80~84歳	74	59.5	1.4	16.2	9.5
女性85歳以上	161	46.0	29.2	1.9	13.0	
女性計	326	47.5	18.4	12.3	9.2	
無回答	64	31.3	12.5	26.6	10.9	
認定状況別	一般	22	22.7	22.7	22.7	13.6
	二次予防	16	56.3	25.0	18.8	-
	要支援	210	37.6	17.1	17.6	10.5
	要介護1・2	167	42.5	22.2	17.4	10.2
	要介護3~5	88	46.6	26.1	15.9	4.5
無回答	15	26.7	20.0	26.7	6.7	
日常生活圏域別	A	39	33.3	17.9	20.5	15.4
	B	48	33.3	33.3	14.6	4.2
	C	59	32.2	22.0	22.0	11.9
	D	44	47.7	15.9	25.0	4.5
	E	27	25.9	29.6	22.2	3.7
	F	44	40.9	25.0	13.6	11.4
	G	61	44.3	14.8	18.0	9.8
	H	42	38.1	19.0	21.4	11.9
	I	58	48.3	22.4	10.3	8.6
	J	43	48.8	23.3	11.6	9.3
	K	46	45.7	13.0	13.0	8.7
	無回答	7	28.6	-	57.1	-
	世帯構成別	一人暮らし	67	46.3	11.9	10.4
配偶者と二人暮らし		101	8.9	27.7	41.6	14.9
配偶者以外と二人暮らし		66	59.1	19.7	6.1	1.5
同居(三人以上)		251	49.0	10.8	9.2	10.0
その他	5	20.0	-	40.0	20.0	
無回答	28	21.4	21.4	35.7	10.7	

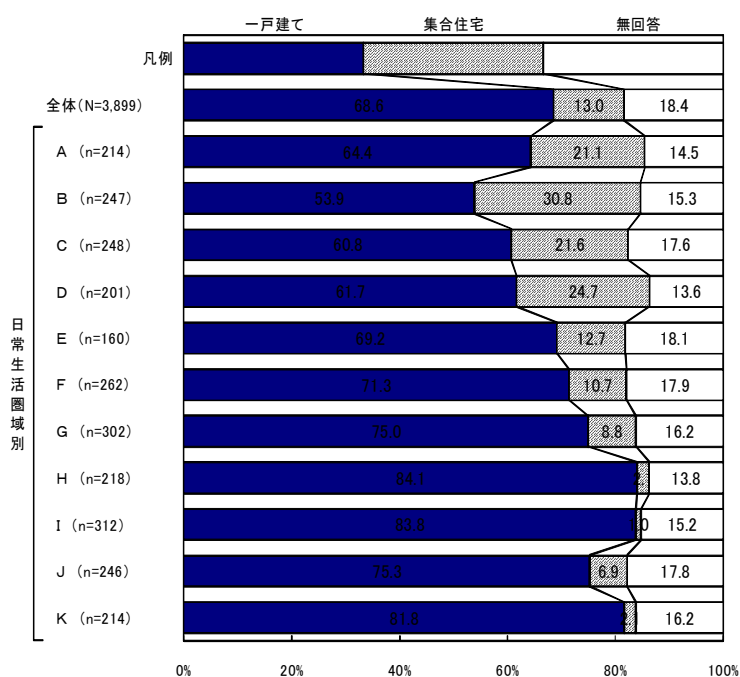
介護者の年齢を見てみると、65歳以上の方が介護者である意図回答した人の割合は全体の47.7%と半数近くを占めています。65歳以上の方が介護者であると回答した人の割合が最も低かった圏域は、K圏域の34.7%で、40%台の圏域が4圏域、50%台の圏域が6圏域となっています。

(9) 住まいについて

住居の形態

単位：%					単位：%						
		サンプル数	一戸建て	集合住宅	無回答			サンプル数	一戸建て	集合住宅	無回答
全体		3,899	68.6	13.0	18.4	全体		3,899	68.6	13.0	18.4
性・年齢別	男性65～69歳	336	76.5	17.3	6.3	日常生活圏域別	A	337	64.4	21.1	14.5
	男性70～74歳	222	77.5	11.3	11.3		B	399	53.9	30.8	15.3
	男性75～79歳	200	69.5	14.5	16.0		C	370	60.8	21.6	17.6
	男性80～84歳	163	74.8	6.7	18.4		D	308	61.7	24.7	13.6
	男性85歳以上	158	75.3	10.1	14.6		E	221	69.2	12.7	18.1
	男性計	1,092	74.8	12.8	12.4		F	363	71.3	10.7	17.9
	女性65～69歳	390	75.4	16.9	7.7		G	396	75.0	8.8	16.2
	女性70～74歳	422	72.3	18.0	9.7		H	283	84.1	2.1	13.8
	女性75～79歳	468	70.7	14.1	15.2		I	396	83.8	1.0	15.2
	女性80～84歳	433	68.4	10.4	21.2		J	348	75.3	6.9	17.8
	女性85歳以上	507	71.2	9.9	18.9		K	291	81.8	2.1	16.2
	女性計	2,241	71.2	13.7	15.2		無回答	187	26.2	7.5	66.3
	無回答	566	46.5	10.6	42.9		世帯構成別	一人暮らし	904	53.5	25.8
認定状況別	一般	1,715	72.4	13.6	14.0	配偶者と二人暮らし		849	76.7	11.9	11.4
二次予防	509	72.1	15.7	12.2	配偶者以外と二人暮らし	328		69.5	20.1	10.4	
要支援	844	64.5	14.7	20.9	同居（三人以上）	1,343		81.5	4.8	13.6	
要介護1・2	317	75.1	8.5	16.4	その他	59		32.2	28.8	39.0	
要介護3～5	146	76.7	8.9	14.4	無回答	416		47.6	5.8	46.6	
無回答	368	46.7	7.9	45.4							

■住まいの状況(日常生活圏域別)



住居の種類

単位：%

	サンプル数	持家	民間賃貸住宅	機～市・公営等	公営賃貸住宅 都市	借間	その他	無回答
全体	3,899	76.4	7.9	6.2	1.2	0.7	7.6	
性・年齢別	男性65～69歳	336	78.3	9.8	6.8	0.3	0.6	4.2
	男性70～74歳	222	77.9	13.1	4.5	0.9	-	3.6
	男性75～79歳	200	78.0	9.0	6.5	1.5	-	5.0
	男性80～84歳	163	80.4	6.1	4.3	1.8	1.2	6.1
	男性85歳以上	158	82.3	8.2	3.2	0.6	1.3	4.4
	男性計	1,092	79.2	9.5	5.3	0.9	0.5	4.5
	女性65～69歳	390	76.2	10.8	6.2	1.0	0.8	5.1
	女性70～74歳	422	77.3	8.8	9.0	1.9	0.2	2.8
	女性75～79歳	468	79.9	7.1	6.4	1.7	0.2	4.7
	女性80～84歳	433	78.8	5.8	6.5	1.2	1.8	6.0
女性85歳以上	507	81.7	5.5	5.3	0.4	1.4	5.7	
女性計	2,241	78.7	7.5	6.6	1.2	0.9	5.1	
無回答	566	62.0	6.0	6.7	1.6	0.4	23.3	
認定状況別	一般	1,715	79.9	8.7	5.5	0.9	0.2	4.8
	二次予防	509	76.8	8.4	7.9	1.8	0.4	4.7
	要支援	844	75.1	8.9	7.3	1.2	1.3	6.2
	要介護1・2	317	82.6	3.5	6.9	1.6	1.6	3.8
	要介護3～5	146	77.4	4.8	4.1	2.1	2.7	8.9
無回答	368	57.1	6.0	4.9	0.8	0.8	30.4	
日常生活圏域別	A	337	71.2	18.1	1.5	1.8	-	7.4
	B	399	68.7	15.0	5.0	3.0	1.0	7.3
	C	370	65.1	8.6	20.8	1.1	0.3	4.1
	D	308	73.1	14.0	4.9	1.6	2.3	4.2
	E	221	71.5	15.8	6.3	1.4	-	5.0
	F	363	75.2	5.2	12.1	0.8	1.4	5.2
	G	396	83.1	3.8	7.3	0.8	0.8	4.3
	H	283	91.9	0.7	1.4	0.4	0.4	5.3
	I	396	92.9	1.5	1.3	0.8	-	3.5
	J	348	82.8	2.9	7.2	0.6	0.9	5.7
	K	291	89.3	4.5	0.3	0.7	0.7	4.5
無回答	187	34.2	5.9	2.1	1.1	1.1	55.6	
世帯構成別	一人暮らし	904	62.2	16.6	12.1	2.7	0.7	5.9
	配偶者と二人暮らし	849	84.0	6.2	6.5	0.7	-	2.6
	配偶者以外と二人暮らし	328	73.5	10.7	9.5	1.2	0.3	4.9
	同居（三人以上）	1,343	90.1	3.8	2.0	0.6	0.1	3.4
	その他	59	30.5	5.1	3.4	3.4	30.5	27.1
無回答	416	56.7	3.6	4.6	0.5	0.2	34.4	

住宅の形態を日常生活圏域別に見ると、B圏域で集合住宅が3割を占め、他の圏域に比べ高くなっています。G～K圏域では「集合住宅」の割合は1割に満たず、他の圏域よりも低くなっています。また、世帯構成別では、一人暮らしにおいて、「集合住宅」の割合は25.8%を占めています。

住宅の種類についての設問では、住宅の持ち家率は76.4%と高い値を示しており、G～K圏域では80%を超えています。世帯構成別では、一人暮らしで「民間賃貸住宅」(16.6%)、「公営賃貸住宅」(12.1%)が、他の世帯構成を上回っています。

住居が2階以上にあるかとの設問に対しては、「いいえ」(62.3%)が「はい」(27.5%)を上回り、認定状況別にみると、「はい」と回答した人は、概ね認定が低いほど割合が高くなっています。日常生活圏域別では、B地区では「はい」が48.6%と、「いいえ」(44.6%)を唯一上回っており、世帯構成別では大きな差異は見られません。住宅の種類別では、公営賃貸住宅で「はい」が65.0%と「いいえ」(29.6%)を大きく上回っています。

住居が2階以上にあるか

単位：%

	サンプル数	はい	いいえ	無回答	
全体	3,899	27.5	62.3	10.2	
性・年齢別	男性65～69歳	336	34.5	60.7	4.8
	男性70～74歳	222	30.2	65.8	4.1
	男性75～79歳	200	31.0	60.5	8.5
	男性80～84歳	163	23.3	68.1	8.6
	男性85歳以上	158	29.7	62.0	8.2
	男性計	1,092	30.6	62.9	6.5
	女性65～69歳	390	30.0	66.2	3.8
	女性70～74歳	422	30.3	64.2	5.5
	女性75～79歳	468	26.9	65.6	7.5
	女性80～84歳	433	24.7	64.2	11.1
女性85歳以上	507	21.5	69.2	9.3	
女性計	2,241	26.6	65.8	7.6	
無回答	566	25.3	47.2	27.6	
認定状況別	一般	1,715	30.0	62.7	7.2
	二次予防	509	31.2	64.8	3.9
	要支援	844	26.3	63.0	10.7
	要介護1・2	317	24.0	69.7	6.3
	要介護3～5	146	18.5	69.9	11.6
無回答	368	19.8	45.7	34.5	

単位：%

	サンプル数	はい	いいえ	無回答	
全体	3,899	27.5	62.3	10.2	
日常生活圏域別	A	337	35.9	56.4	7.7
	B	399	48.6	44.6	6.8
	C	370	33.2	61.9	4.9
	D	308	43.5	50.6	5.8
	E	221	23.5	68.8	7.7
	F	363	24.5	67.2	8.3
	G	396	24.0	67.7	8.3
	H	283	15.2	74.6	10.2
	I	396	16.2	75.8	8.1
	J	348	23.6	67.8	8.6
	K	291	16.2	74.6	9.3
無回答	187	15.0	25.7	59.4	
世帯構成別	一人暮らし	904	32.0	58.8	9.2
	配偶者と二人暮らし	849	27.7	67.5	4.8
	配偶者以外と二人暮らし	328	32.3	61.0	6.7
	同居（三人以上）	1,343	24.7	70.1	5.1
	その他	59	52.5	22.0	25.4
無回答	416	19.0	40.6	40.4	
住居の種類別	持家	2,980	23.7	70.2	6.1
	民間賃貸住宅	307	42.0	52.1	5.9
	公営賃貸住宅（市・県営、都市機構、公社等）	243	65.0	29.6	5.3
	借間	46	21.7	73.9	4.3
	その他	28	75.0	17.9	7.1
無回答	295	16.3	22.0	61.7	

5-1. 生活機能分析

今回の調査では、人が生きていくための機能を指す「生活機能」を8つの項目に分類し、運動機能の低下や閉じこもりなど、介護予防の機能が衰えている方の割合を算出しました。判定のもとになる設問は以下の通りとなっており、この設問について該当する回答のあった方がリスク者（機能が衰えている方）となります。

なお、後述の設問において、①基本チェックリスト20問中、10問以上該当する人、②「運動機能」に関する設問5問中、3問以上が該当する人、③「栄養」に関する設問の2問とも該当する人、④「口腔機能」に関する設問3問中、2問以上が該当する人で、なおかつ要介護認定者ではない方を「二次予防事業対象者」として算出しています。二次予防事業対象者とは、現在は要介護（要支援）の状態にないけれど、将来的に要介護（要支援）になる可能性の高い方です。

◆判定基準となる設問（基本チェックリスト）

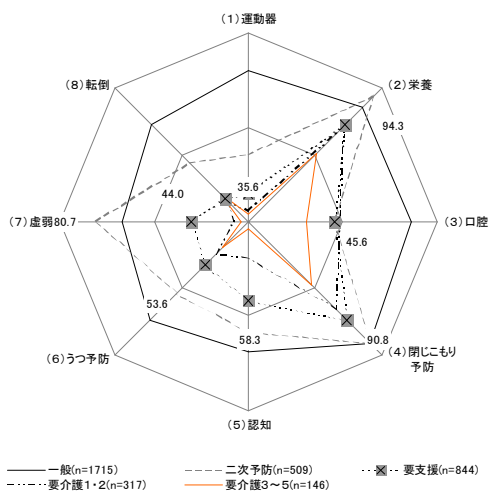
	設問内容	該当する回答
暮らし その1	バスや電車で一人で外出していますか	できない
	日用品の買物をしていますか	できない
	預貯金の出し入れをしていますか	できない
	友人の家を訪ねていますか	いいえ
	家族や友人の相談にのっていますか	いいえ
運動 機能	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	いいえ
	椅子から座った状態から何もつかまらずに立ちあがっていますか	いいえ
	15分位続けて歩いていますか	いいえ
	この1年間に転んだことがありますか	はい
	転倒に対する不安は大きいですか	はい
栄養	6ヶ月間で2～3kgの体重減少がありましたか	はい
	身長、体重、BMI	BMI ≤ 18.5
口腔 機能	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
	お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
	口の渇きが気になりますか	はい
暮らし その2	週に1回以上は外出していますか	いいえ
	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	はい
	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると 言われますか	はい
	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	いいえ
	今日が何月何日かわからない時がありますか	はい

(1) 項目別評価結果

生活機能の各機能に対して「非該当（リスクなし）」と評価された方の割合をみると、要支援・要介護認定を受けておらず、また二次予防事業の対象にもならない一般高齢者では、二次予防以上の方に比べて、多くの機能において割合が高くなっていますが、いずれの機能も100%には届かず、一般高齢者のなかにも一定程度のリスク者が認められます。特に、二次予防対象者の該当条件になっていない認知、うつ予防、転倒については、二次予防対象者に比べてリスク者の割合は低いものの、運動器や栄養、口腔など二次予防対象者の該当条件となっている機能よりもリスク者の割合が高くなっています。

各機能におけるリスク者の算出方法については、別紙資料をご参照ください。

■ 生活機能 非該当者(リスクなし)の割合



※記載数値は二次予防対象者のもの。

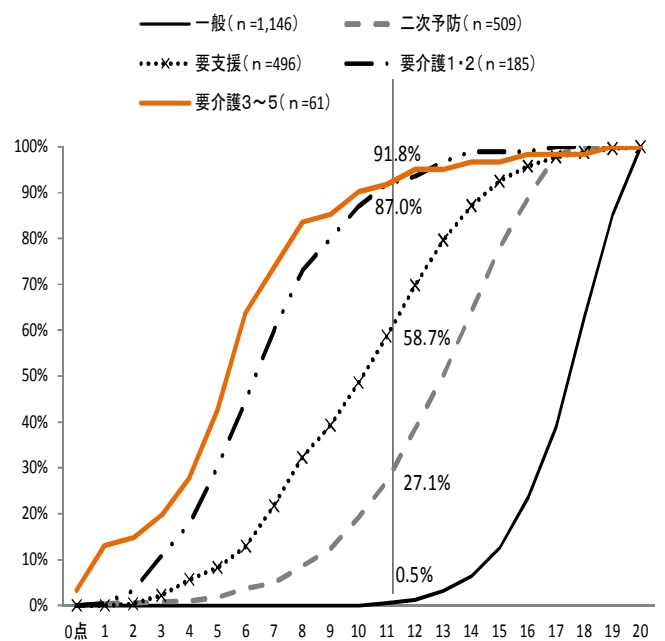
	サンプル数	運動器	栄養	口腔	閉じこもり予防	認知	うつ予防	虚弱	転倒
一般	1,715	79.9	85.5	86.4	91.0	68.9	73.5	66.8	72.8
二次予防	509	35.6	94.3	45.6	90.8	58.3	53.6	80.7	44.0
要支援	844	14.8	72.6	46.0	73.8	42.1	32.6	30.2	17.2
要介護1・2	317	5.4	70.7	48.3	65.9	18.9	24.6	7.6	16.7
要介護3～5	146	4.1	51.4	30.8	47.3	4.1	19.2	4.1	21.2
無回答	368	24.5	48.6	42.9	59.0	33.4	32.6	23.4	26.6

(2) 総合指標

基本チェックリストのうつ予防に関する設問を除く20問について、各設問で非該当となる回答をした場合を各1点として、その合計得点の分布を累積相対度数[※]で表しました。各生活機能に対して「非該当（リスクなし）」と評価された方の割合をみると、10点以下の割合は、一般高齢者で0.5%、二次予防対象者が27.1%、要支援1・2が58.7%、要介護1・2が87.0%、要介護3～5が91.8%となっています。

この基本チェックリストの得点により、認定者を含めて高齢者の生活機能のレベルが把握できます。10点以下の二次予防対象者については早めのフォローが、また11点以上の要支援・要介護認定者については予防給付などのサービス内容の検証が必要と考えられます。

■ 基本チェックリスト合計得点(累積相対度数)



※累積相対度数とは・・・最も小さな点(0点)からその値までの人数を合計したものの、全体人数に対する割合。

5-2. 日常生活

(1) 日常生活動作 (ADL)

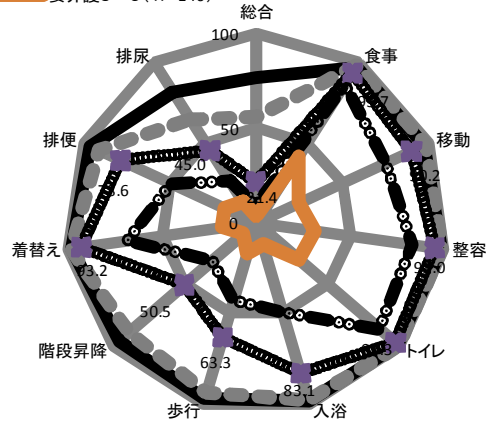
高齢者の日常生活動作 (ADL) の状況を見ると、「自立」と評価される者の割合は、いずれの項目においても一般高齢者が最も高く、次いで二次予防事業対象者、要支援、要介護の順となっています。

要介護認定者と二次予防対象者の中間に位置する要支援認定者についてみると、食事や移動、整容、トイレ、着替えなどは自立の割合が9割以上となっていますが、歩行や階段昇降、排便、排尿などはそれらの動作に比べると相対的に低く、二次予防対象者との差が大きくなっており、日常生活動作の中でも、比較的早い時期に低下するものとそうでないものがあることがうかがえます。

また、全ての項目において自立している (総合) と回答した者の割合は、一般高齢者でも76.4%となっています。

■ADL(評価項目別自立者割合):認定状況別

- 一般(n=1,715)
- 要支援(n=844)
- 要介護3~5(n=146)
- 二次予防(n=509)
- 要介護1・2(n=317)



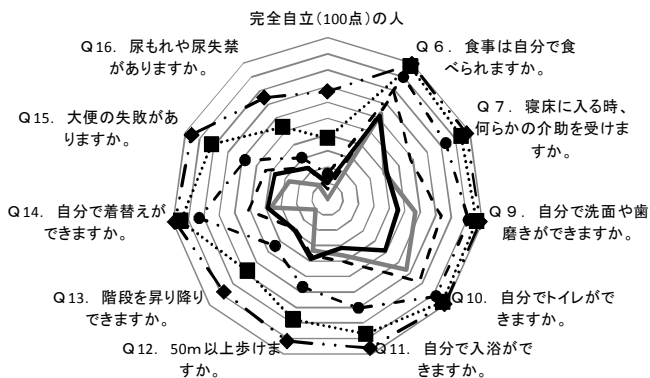
	サンプル数	総合	食事	移動	整容	トイレ	入浴	歩行	階段昇降	着替え	排便	排尿
全体	3,899	49.2	91.3	88.6	91.3	92.4	84.8	78.3	72.5	89.3	82.1	60.4
一般	1,715	76.4	97.5	97.6	98.5	98.9	98.4	97.0	95.6	98.8	96.3	81.7
二次予防	509	55.6	99.0	98.2	98.8	99.6	97.6	93.5	88.8	98.6	91.7	64.4
要支援	844	21.4	93.7	90.2	95.0	97.3	83.1	63.3	50.5	93.2	78.6	45.0
要介護1・2	317	8.5	86.4	75.4	83.0	86.1	49.8	43.2	30.9	68.8	49.8	25.6
要介護3~5	146	3.4	41.1	24.7	31.5	30.1	11.6	17.1	8.9	18.5	18.5	13.0
無回答	368	30.4	69.8	66.0	69.6	71.5	66.3	58.4	53.5	69.0	63.9	39.7

※記載数値は要支援認定者のもの

※ADLとは・・・日常生活を営む上で、一般的に行っている行為、行動のこと。

■ADL関連項目:認知機能レベル別

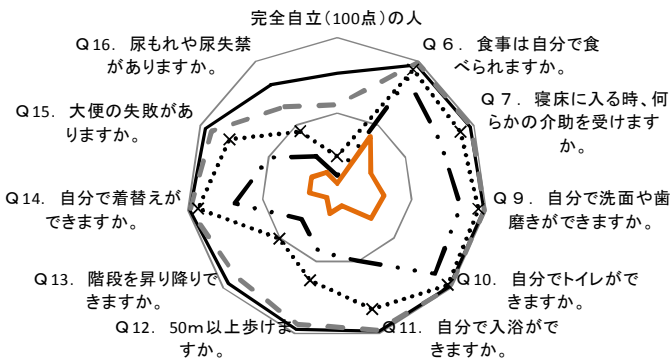
- ◆ 0レベル(障害なし)(n=2,312)
- 1レベル(境界的である)(n=523)
- 2レベル(軽度の障害がある)(n=377)
- 3レベル(中等度の障害がある)(n=113)
- 4レベル(やや重度の障害がある)(n=30)
- 5レベル(重度の障害がある)(n=70)



	サンプル数	完全自立(100点)の人	Q6. 食事は自分で食べられますか。	Q7. 寝床に入る時、何らかの介助を受けられますか。	Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか。	Q10. 自分でトイレができますか。	Q11. 自分で入浴ができますか。	Q12. 50m以上歩けますか。	Q13. 階段を昇り降りできますか。	Q14. 自分で着替えができますか。	Q15. 大便秘結がありますか。	Q16. 尿もれや尿失禁がありますか。
全体	3,899	49.2	91.3	88.6	91.3	92.4	84.8	78.3	72.5	89.3	82.1	60.4
0レベル(障害なし)	2,312	66.7	99.6	97.9	98.6	99.3	96.3	91.7	87.8	98.7	95.8	74.8
1レベル(境界的である)	523	37.9	97.9	93.9	96.4	97.3	87.2	77.8	67.9	95.0	81.6	53.2
2レベル(軽度の障害がある)	377	15.6	89.9	83.3	91.2	92.0	70.3	56.8	44.3	83.0	58.1	30.5
3レベル(中等度の障害がある)	113	6.2	78.8	58.4	73.5	77.9	40.7	36.3	27.4	51.3	43.4	23.0
4レベル(やや重度の障害がある)	30	0.0	63.3	40.0	56.7	66.7	36.7	33.3	10.0	36.7	26.7	10.0
5レベル(重度の障害がある)	70	10.0	61.4	41.4	45.7	48.6	31.4	38.6	28.6	38.6	37.1	22.9
6レベル(最重度の障害がある)	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ ADL 関連項目：認定状況別

- 一般(n=2,312)
- - - 二次予防(n=523)
- 要支援(n=377)
- 要介護1・2(n=113)
- 要介護3～5(n=30)



	サンプル数	完全自立(100点)の人	Q6. 食事は自分で食べられますか。	Q7. 寝床に入る時、何らかの介助を受けますか。	Q9. 自分で洗面や歯磨きができますか。	Q10. 自分でトイレができますか。	Q11. 自分で入浴ができますか。	Q12. 50m以上歩けますか。	Q13. 階段を昇り降りできますか。	Q14. 自分で着替えができますか。	Q15. 大便の失敗がありますか。	Q16. 尿もれや尿失禁がありますか。
全体	3,899	49.2	91.3	88.6	91.3	92.4	84.8	78.3	72.5	89.3	82.1	60.4
一般	2,312	76.4	97.5	97.6	98.5	98.9	98.4	97.0	95.6	98.8	96.3	81.7
二次予防	523	55.6	99.0	98.2	98.8	99.6	97.6	93.5	88.8	98.6	91.7	64.4
要支援	377	21.4	93.7	90.2	95.0	97.3	83.1	63.3	50.5	93.2	78.6	45.0
要介護1～2	113	8.5	86.4	75.4	83.0	86.1	49.8	43.2	30.9	68.8	49.8	25.6
要介護3～5	30	3.4	41.1	24.7	31.5	30.1	11.6	17.1	8.9	18.5	18.5	13.0

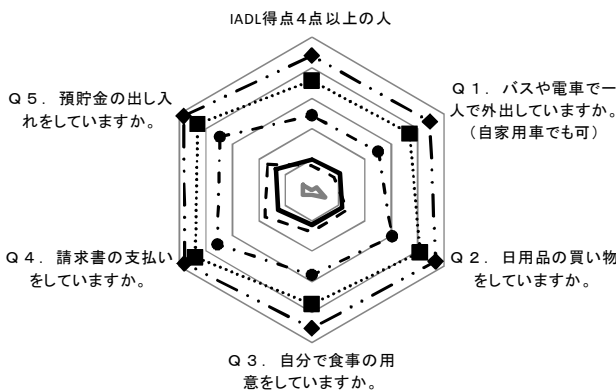
(2) 老研式活動能力指標 (IADL)

高齢者が自立した生活を営む上では、歩行や移動、食事、更衣、排泄などの基本的な身体動作だけでなく、買い物や家事、服薬や貯金の管理など、より複雑な生活関連動作の自立性が重要です。

IADLの総合得点が4点以上の方は、全体で71.2%で、概ね認知得点が重度になるほど割合は少なくなる傾向がみられます。また、関連する設問について認知得点別にみると、いずれの設問においても1レベル(境界的である)から2レベル(軽度の障害がある)の間と、2レベル(軽度の障害がある)から3レベル(中等度の障害がある)の間で、IADL得点が4点以上の方の割合は大きく減少しています。特に2レベルから3レベルの間はQ3以外はいずれも30ポイント以上の差が開いており、特に「Q4. 請求書の支払いをしていますか」と「Q5. 預貯金の出し入れをしていますか」などお金に関する設問では35ポイント以上の差となっています。

■ IADL(認定状況別生活機能得点)関連項目：認知得点別

- 0レベル(障害なし)
- 1レベル(境界的である)
- 2レベル(軽度の障害がある)
- - - 3レベル(中等度の障害がある)
- 4レベル(やや重度の障害がある)
- 5レベル(重度の障害がある)

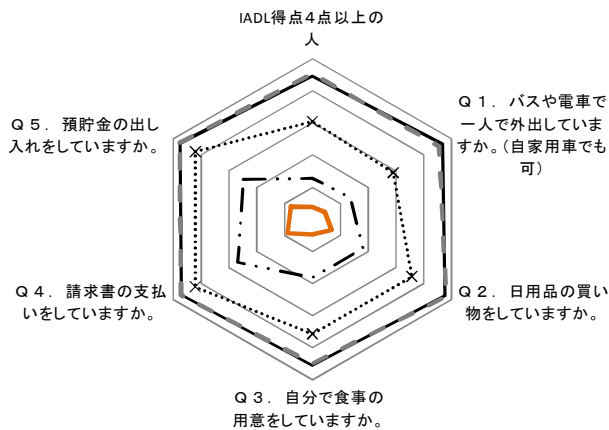


	サンプル数	上のADL得点4点以上	Q1. バスや電車で一人で外出していますか。(自家用車でも可)	Q2. 日用品の買い物をしていますか。	Q3. 自分で食事の用意をしていますか。	Q4. 請求書の支払いをしていますか。	Q5. 預貯金の出し入れをしていますか。
全体	3,899	71.2	73.5	79.0	75.9	82.8	83.1
0レベル(障害なし)	2,312	88.0	89.4	93.6	90.7	96.2	96.8
1レベル(境界的である)	523	71.5	74.0	81.8	74.8	88.1	86.4
2レベル(軽度の障害がある)	377	48.8	50.1	60.7	55.7	71.4	69.5
3レベル(中等度の障害がある)	113	15.9	16.8	26.5	27.4	35.4	33.6
4レベル(やや重度の障害がある)	30	0.0	3.3	10.0	3.3	6.7	6.7
5レベル(重度の障害がある)	70	20.0	21.4	22.9	22.9	25.7	27.1
6レベル(最重度の障害がある)	18	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

また、認定状況別にみると、要介護度が高くなるほど IADL 得点が 4 点以上の人の割合は少なくなっており、特に二次予防から要支援の間と、要支援から要介護 1～2 の間で差が大きくなっています。

■ IADL (認定状況別生活機能得点) 関連項目: 認定状況別

—— 一般(n=2,312) - - - 二次予防(n=523) ····· 要支援(n=377)
 - ··· 要介護 1・2(n=113) ——— 要介護 3～5(n=30)



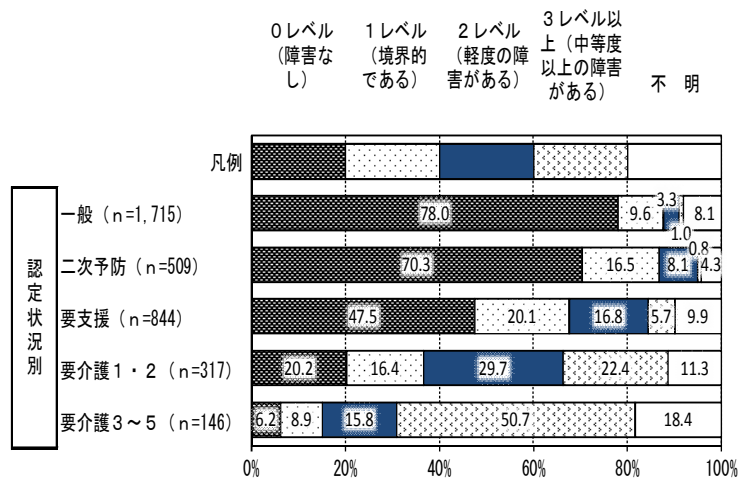
	サンプル数	IADL 得点 4 点以上の 人	Q 1 . バスや電車で一人 で外出していますか。(自家用車でも可)	Q 2 . 日用品の買い物をし ていますか。	Q 3 . 自分で 食事の用意を しますか。	Q 4 . 請求書 の支払いをし ていますか。	Q 5 . 預貯金 の出し入れを していますか。
全 体	3,899	71.2	73.5	79.0	75.9	82.8	83.1
一般	2,312	89.1	93.6	95.2	90.8	94.1	95.2
二次予防	523	90.8	91.0	96.1	89.8	94.5	95.5
要支援	377	60.9	58.1	71.6	71.4	84.2	84.1
要介護 1～2	113	25.6	27.1	36.3	36.3	53.6	49.5
要介護 3～5	30	7.5	8.9	13.7	9.6	17.8	15.8

5-3. 健康・疾病

(1) 認知機能の障害程度

認知機能の障害程度の指標として有用とされているCPSに準じて、認知機能の障害程度の分布をみると、認知機能の障害ありと評価される者の割合は要介護認定者が最も高く、次いで要支援、二次予防事業対象者、一般高齢者の順となっています。また、認知症の行動・心理症状がみられるといわれる3レベル以上の割合をみると、要介護3～5で50.7%、要介護1・2で22.4%、要支援で5.7%となっています。認定状況が高くなるほど障害ありと判定された方の割合は多くなっていることから、今後高齢化の進展に伴いますます増加すると考えられます。

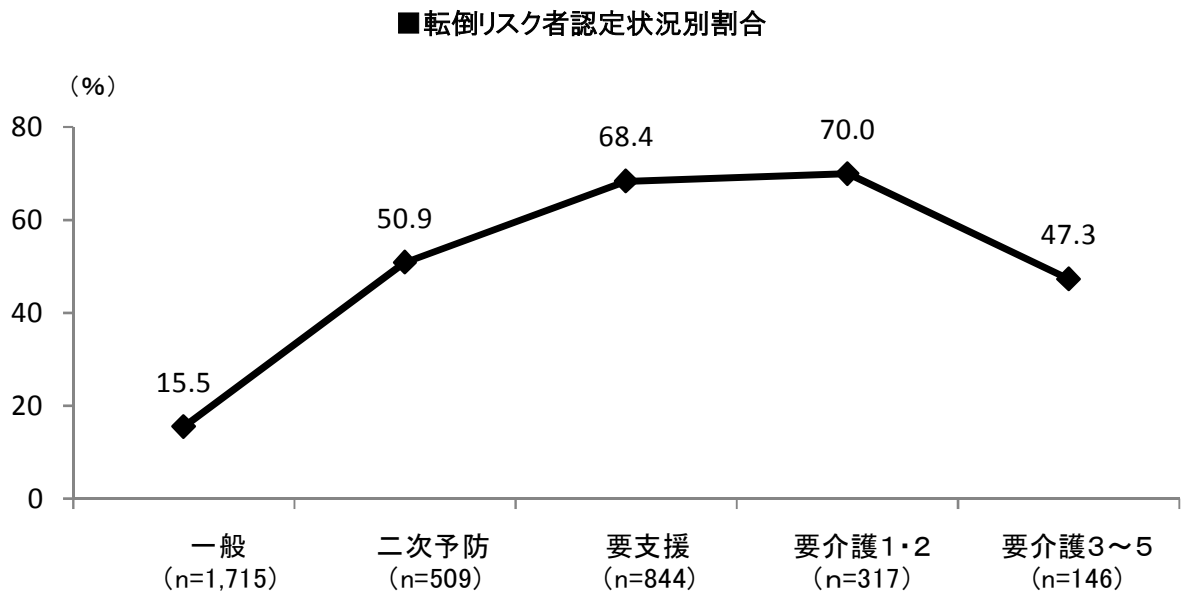
■ 認知機能の障害程度別割合



※CPSとは・・・要介護認定調査を行う際の主治医意見書に設けられた項目で、「短期記憶」、「日常の意思決定を行うための認知能力」、「自分を理解させることができる能力」、「食事の自己動作」についてそれぞれ評価を行う。

(2) 転倒リスク

転倒のリスクが高い人の割合についてみると、要介護1・2と要支援は約7割がリスクが高いと判定されています。また、一般高齢者でも15.5%、二次予防対象者でも50.9%の人が転倒のリスクが高いと判定されており、要支援・要介護認定を受けていない高齢者に対してもリスク回避のための取組みを行う必要があると考えられます。



(3) 既往症

疾病の既往症の状況をみると、要介護の原因疾患となる脳卒中、認知症、パーキンソン病などは認定が高くなるほど、既往率が高くなっています。

一方で高血圧や心臓病、胃腸・肝臓・胆のうの病気、筋骨格の病気、外傷、目の病気、脊柱管狭窄症、変形性膝関節症などは要支援認定者の既往率が最も高くなっており、今後はこれらの疾病状況の悪化による要介護認定の重度化が予測されます。

既往症については、日常生活圏域毎の大きな差異は見られません。すべての日常生活圏域において、性別、年代別のいずれにおいても高血圧症の既往症が第1位でした。身体状況別では要介護3～5だけが認知症（アルツハイマー症）の割合が32.2%と高血圧症を上回っています。

■疾病の状況(既往症)

単位：%

疾病	一般(n=1,715)	二次予防 (n=509)	要支援(n=844)	要介護1・2 (n=317)	要介護3～5 (n=146)
高血圧	38.6	43.2	49.8	42.9	27.4
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2.7	4.1	10.3	14.2	21.9
心臓病	9.7	13.9	22.6	19.6	17.1
糖尿病	11.1	14.7	14.8	12.0	16.4
高脂血症(脂質異常)	11.7	8.1	8.8	4.4	4.1
呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	3.7	6.5	8.3	5.0	13.0
胃腸・肝臓・胆のうの病気	8.1	14.3	15.3	10.7	7.5
腎臓・前立腺の病気	5.1	8.4	8.8	8.8	7.5
筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	9.0	16.5	27.1	23.3	12.3
外傷(転倒・骨折等)	1.6	6.9	11.1	9.8	8.9
がん(新生物)	2.3	7.1	5.3	5.4	6.8
血液・免疫の病気	0.7	2.2	2.3	2.5	-
うつ病	1.1	2.4	4.3	6.0	5.5
認知症(アルツハイマー病等)	0.3	1.0	2.4	19.9	32.2
パーキンソン病	0.2	0.8	2.4	3.8	6.8
目の病気	19.0	26.7	30.8	21.8	19.2
耳の病気	6.7	11.6	10.2	10.4	6.2
脊柱管狭窄症	5.7	11.8	21.6	10.1	8.2
変形性膝関節症	4.6	7.7	13.2	10.4	7.5
その他	5.2	7.5	6.6	6.3	2.1

■疾病の状況

単位：％

	サンプル数	高血圧	目の病気	筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	心臓病	糖尿病	脊柱管狭窄症	病気(胃腸・肝臓・胆のうの病気)	高脂血症(脂質異常)	耳の病気	変形性膝関節症	腎臓・前立腺の病気	塞等(脳卒中(脳出血・脳梗塞等))	外傷(転倒・骨折等)	呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	がん(新生物)	認知症(アルツハイマー病等)	うつ病	血液・免疫の病気	パーキンソン病	その他	ない	無回答	
全体	3,899	40.4	22.7	15.3	14.2	12.4	10.7	10.5	9.2	8.3	7.4	6.7	6.3	5.5	5.4	3.9	3.7	2.6	1.4	1.4	5.6	7.6	10.4	
性・年齢別	男性65～69歳	336	36.0	11.0	3.6	11.9	16.7	2.4	6.8	13.1	5.7	6.5	9.8	5.1	0.9	4.2	4.2	0.6	2.4	0.3	0.6	7.4	19.0	8.9
	男性70～74歳	222	45.0	14.9	3.6	15.3	22.5	4.1	12.2	9.0	6.8	5.4	16.2	6.8	1.4	6.3	4.1	3.2	2.3	1.4	2.3	2.3	11.7	6.3
	男性75～79歳	200	42.0	26.5	6.0	20.5	20.0	6.0	13.0	6.0	10.0	8.5	13.5	13.5	4.0	6.0	7.5	2.0	1.0	1.0	2.5	3.5	8.5	5.5
	男性80～84歳	163	47.9	25.8	11.7	23.9	18.4	6.1	16.6	6.7	13.5	12.9	22.1	14.1	8.0	9.8	5.5	9.2	1.2	1.2	3.7	6.1	1.8	3.1
	男性85歳以上	158	35.4	22.2	9.5	25.9	12.7	8.2	12.7	1.9	10.8	11.4	30.4	8.9	8.9	12.0	7.0	8.2	1.3	0.6	-	4.4	3.2	7.0
	男性計	1,092	40.8	18.3	6.2	18.0	17.9	4.9	11.4	8.2	8.6	8.2	16.6	8.8	3.9	6.9	5.4	3.8	1.8	0.8	1.6	4.9	10.7	6.6
	女性65～69歳	390	35.6	15.1	9.5	4.6	11.5	6.9	7.4	16.9	3.8	3.8	1.3	3.1	1.8	4.4	3.1	0.3	3.1	1.3	-	6.4	17.2	8.7
	女性70～74歳	422	37.7	21.3	16.8	7.1	8.3	11.8	7.3	11.1	7.8	5.9	2.6	5.7	2.1	3.1	3.1	0.7	2.8	1.4	0.9	7.6	8.1	10.9
	女性75～79歳	468	41.0	30.1	20.9	13.2	10.9	15.8	12.0	11.8	11.5	8.1	1.9	5.3	7.1	3.4	4.1	3.2	3.4	1.5	1.7	7.1	4.1	6.0
	女性80～84歳	433	49.0	29.8	27.9	15.7	11.8	17.6	12.2	6.0	9.5	12.0	3.2	5.5	12.7	6.7	2.8	5.5	3.7	3.5	2.1	6.9	3.0	6.7
女性85歳以上	507	46.7	28.2	24.9	20.1	9.1	14.4	11.6	6.3	11.4	6.7	3.2	6.9	7.3	6.5	2.6	9.7	2.0	1.6	1.4	4.7	3.0	8.1	
女性計	2,241	42.2	25.4	20.5	12.7	10.3	13.6	10.4	10.1	9.1	7.4	2.5	5.4	6.4	4.9	3.2	4.1	3.0	1.8	1.3	6.6	6.7	8.1	
無回答	566	32.9	20.7	12.4	13.1	10.4	10.4	9.4	7.4	4.8	5.7	4.6	4.9	4.9	4.4	3.9	1.9	2.3	0.7	1.1	3.2	5.1	27.0	
認定状況別	一般	1,715	38.6	19.0	9.0	9.7	11.1	5.7	8.1	11.7	6.7	4.6	5.1	2.7	1.6	3.7	2.3	0.3	1.1	0.7	0.2	5.2	13.1	10.1
	二次予防	509	43.2	26.7	16.5	13.9	14.7	11.8	14.3	8.1	11.6	7.7	8.4	4.1	6.9	6.5	7.1	1.0	2.4	2.2	0.8	7.5	5.3	4.9
	要支援	844	49.8	30.8	27.1	22.6	14.8	21.6	15.3	8.8	10.2	13.2	8.8	10.3	11.1	8.3	5.3	2.4	4.3	2.3	2.4	6.6	1.2	5.2
	要介護1・2	317	42.9	21.8	23.3	19.6	12.0	10.1	10.7	4.4	10.4	10.4	8.8	14.2	9.8	5.0	5.4	19.9	6.0	2.5	3.8	6.3	3.5	4.4
	要介護3～5	146	27.4	19.2	12.3	17.1	16.4	8.2	7.5	4.1	6.2	7.5	7.5	21.9	8.9	13.0	6.8	32.2	5.5	-	6.8	2.1	-	13.7
無回答	368	26.9	18.5	10.6	10.9	9.0	8.7	6.5	6.3	6.3	3.8	5.2	3.8	3.5	2.4	1.4	1.4	1.6	1.1	0.8	3.8	6.5	35.1	
日常生活圏域別	A	337	40.9	25.5	16.6	17.5	10.1	9.2	11.6	9.2	7.4	6.5	5.0	7.1	3.6	7.1	3.9	3.0	3.3	0.9	1.8	5.3	7.1	6.8
	B	399	39.1	23.3	16.3	13.8	15.5	10.8	11.0	9.5	5.8	6.0	5.0	4.3	6.5	5.3	4.3	3.8	1.5	1.0	1.5	7.5	9.0	9.0
	C	370	42.4	27.3	16.5	16.8	11.1	15.4	11.9	13.2	9.5	7.3	8.6	6.5	7.3	5.9	6.5	4.3	1.9	1.6	1.4	6.5	6.5	7.8
	D	308	37.7	24.7	16.6	16.2	12.0	9.1	9.1	11.0	9.1	5.2	4.5	4.9	6.2	7.1	4.2	2.9	2.6	1.6	1.3	6.2	9.7	7.5
	E	221	39.4	25.3	20.8	19.0	13.6	12.7	9.5	9.5	10.4	10.0	9.5	6.8	7.7	5.4	2.7	3.2	2.3	1.8	1.4	9.5	11.3	6.3
	F	363	44.9	21.5	15.7	15.4	14.9	9.9	9.9	8.3	9.1	9.4	9.1	6.9	5.8	6.3	2.8	4.4	3.9	1.9	1.4	4.1	5.8	8.5
	G	396	39.9	22.0	13.6	14.1	13.6	11.1	10.9	9.6	7.3	8.3	7.6	9.6	6.1	5.6	3.0	3.5	2.0	1.0	0.8	5.6	8.6	9.1
	H	283	44.5	20.8	16.6	12.4	8.1	11.0	11.3	8.5	8.5	7.4	6.4	5.7	3.5	3.2	5.3	4.9	2.8	1.1	1.4	3.9	7.1	8.5
	I	396	43.4	24.5	14.6	10.1	12.1	10.9	9.3	6.6	10.4	6.6	7.6	7.1	5.1	6.3	4.5	3.3	2.3	1.5	1.0	2.5	8.6	8.6
	J	348	42.8	20.7	11.2	12.1	13.8	11.2	13.5	8.3	9.8	9.2	8.0	6.6	5.5	4.0	3.4	3.7	2.9	2.0	0.6	9.2	6.6	8.0
	K	291	41.6	21.3	18.9	15.1	15.8	10.3	10.3	9.3	7.2	7.6	5.5	5.8	5.5	5.2	3.4	4.5	3.4	1.4	3.1	5.8	4.8	6.9
無回答	187	18.2	10.2	4.8	7.5	4.3	3.2	4.8	5.9	4.8	4.3	1.6	2.1	1.6	0.5	1.1	2.7	2.1	0.5	1.1	0.5	5.9	57.8	

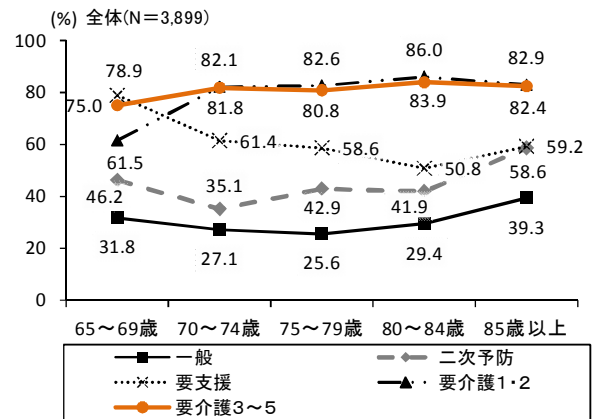
6. 社会参加

(1) 知的能動性

日常生活における自立度について、請求書の支払や預貯金の出し入れ、年金などの書類がかけるか、新聞を読んでいるかなど知的動作に対する能動性（知的能動性）についてみると、知的能動性が低下している人（「低下者」）の割合は、いずれの年齢においても概ね、認定が高くなるほど多くなっていますが、一般高齢者においても3割前後の人が低下していると判定されています。

圏域別に見ても、認定が高くなるほど知的能動性が低いと判定される人の割合が高くなる傾向があり、差異は見られません。

■知的能動性低下者の割合



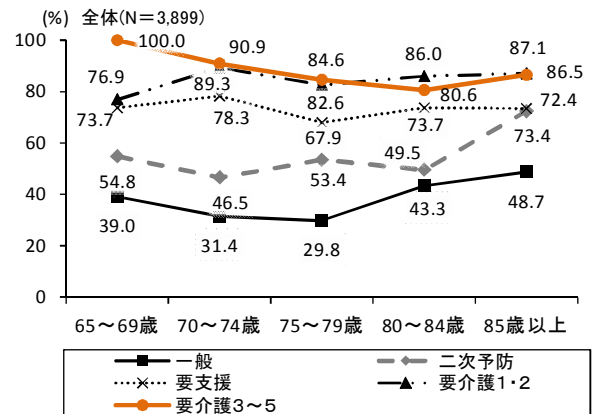
※知的能動性のグラフについては、3つの項目を掛け合わせて集計をしているため、標本値（=n）の掲載が煩雑になることから、全体値（=N）を記載している。

(2) 社会的役割

友人の家を訪ねているか、家族や友人の相談にのっているかなどの社会活動に対する能動性（社会的役割）についてみると、社会的役割が低下している人（「低下者」）の割合は、いずれの年齢においても概ね、認定が高くなるほど多くなっていますが、一般高齢者においても3割から4割の人が低下していると判定されています。

圏域別に見ても、認定が高くなるほど知的能動性が低いと判定される人の割合が高くなる傾向があり、差異は見られません。

■社会的役割低下者の割合



※社会的役割のグラフについては、3つの項目を掛け合わせて集計をしているため、標本値（=n）の掲載が煩雑になることから、全体値（=N）を記載している。

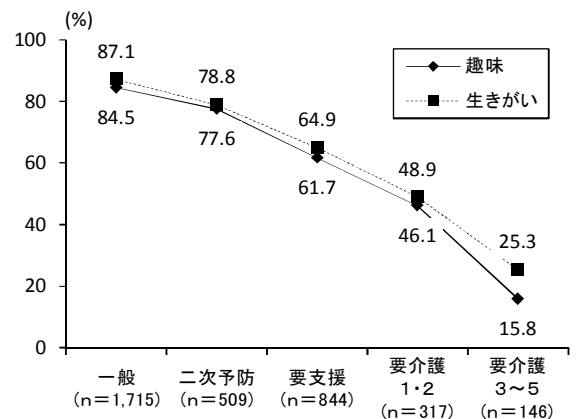
(3) 趣味・生きがい

高齢者が生きがいや趣味を通じて他人と積極的に関わることは、閉じこもりやうつ予防の観点からも非常に重要です。

趣味や生きがいを持っていると回答した人の割合は、認定の程度が高くなるほど少なくなっています。また、一般高齢者でも1割強の人が趣味や生きがいを持っていないと回答しています。

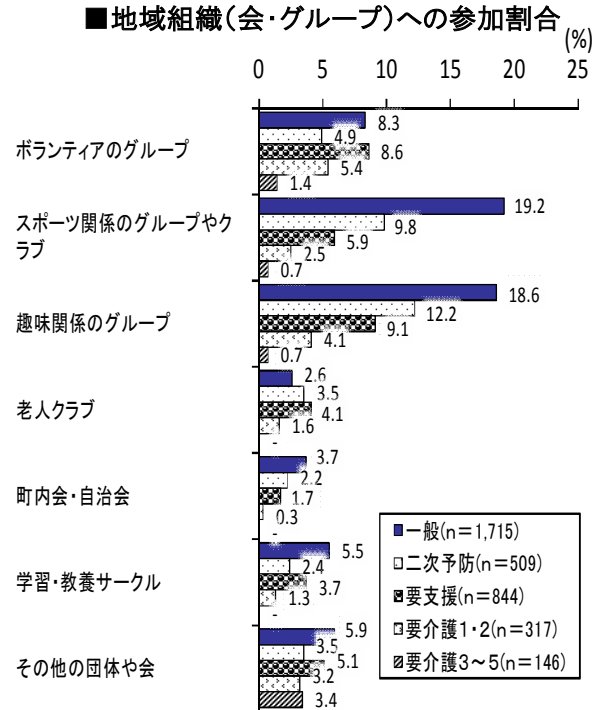
性別及び圏域別による差異は見られません。

■趣味や生きがいを持っていると回答した人の割合



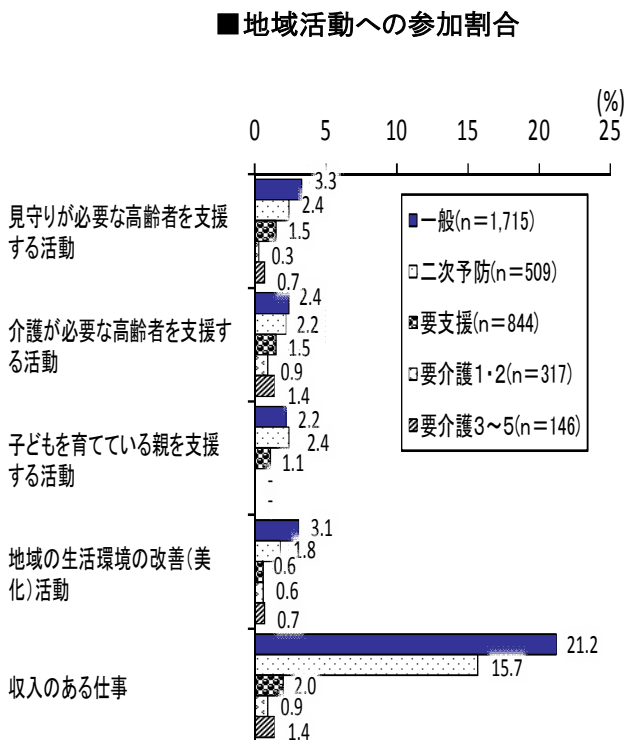
(4) 地域組織（会・グループ）への参加

地域組織ごとの回答では、参加していないと回答した人が過半数でした。週に1回以上、地域組織へ参加している人についてみると、一般高齢者では「スポーツ関係のグループやクラブ」(19.2%)と「趣味関係のグループ」(18.6%)に参加している人が約2割を占めていますが、二次予防対象者になると1割程度に減少し、認定が高くなるほど減少傾向となっています。圏域別ではそれぞれの地域組織に対する参加状況に若干の差異はあるものの、大きな差異があるとは言えません。



(5) 地域活動への参加

地域活動ごとの回答では、参加していないと回答した人が過半数でした。地域活動に週1回以上参加している内容についてみると、一般高齢者と二次予防対象者で「収入のある仕事」をあげた人が2割前後となっていますが、その他はいずれも5%未満にとどまり、低い状況です。圏域別では、地域活動に参加する状況に若干の差異はあるものの、大きな差異があるとは言えません。

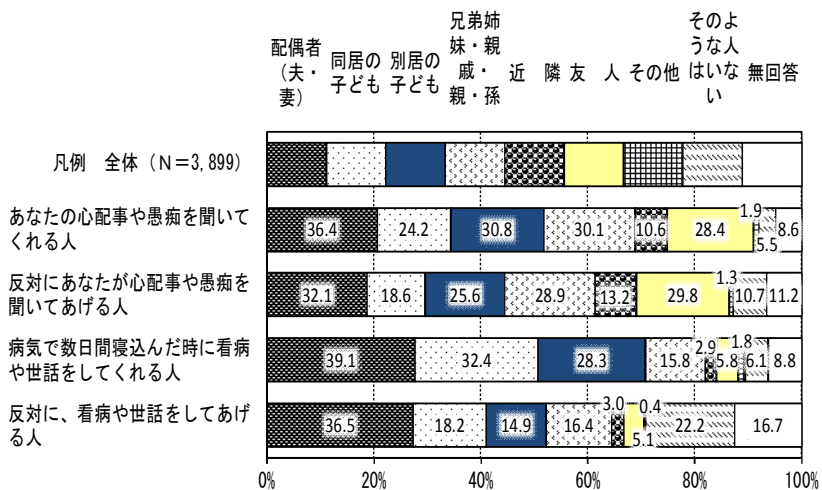


(6) まわりの人との助け合い

まわりの人と、どの程度助け合っているかについてたずねたところ、いずれの項目においても「配偶者」の割合が最も高くなっています。

心配事や愚痴を聞いてくれる人、逆に聞いてあげる人については、いずれも「友人」が3割程度を占めていますが、病気の時の看病や世話についてはしてくれる人、してあげる人ともに「友人」の割合は1割未満と低くなっています。逆に、「同居の子ども」については、日常的な悩みを聞いてもらったり、聞いてあげたりする割合よりも、病気の時の看病や世話の方が割合は高くなっています。日常生活圏域別に大きな差異は見られません。

■まわりの人との助け合いの状況



(7) 友人関係

友人や知人と会う頻度については、一般高齢者と二次予防対象者は「月1～3回」が最も多くなっていますが、認定者はいずれも「会っていない」が最も高く、認定が高くなるほどその割合が高くなっています。

日常生活圏域別に見ても大きな差異は見られません。

■友人と会う頻度

